

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【札幌市】

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	札幌市立藤野小学校 第3学年 36名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 総合的な学習の時間 ） ② 行事名（札幌オリンピックミュージアムを活用した学習） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	- 札幌市の学校教育の重点である札幌らしい特色ある学校教育に位置付けられている「北国札幌らしさを学ぶ【雪】」に関わって、ウィンタースポーツを窓口として「ふるさと札幌」を愛する心をもつ。 1972年の冬季札幌オリンピックによって、札幌が発展したことを理解し、オリンピック・パラリンピックの精神や札幌の未来について考えることで、スポーツの楽しみ方を知り、関わる。
5 取組内容	○指導計画【3時間扱い】 オリンピック・パラリンピックについての学習で生まれた目的意識をもって札幌ウィンターミュージアムで見学をする。その後、見学を通して学んだことを生かし、札幌オリンピックについて考えたり、「北国札幌」のよさについて交流したりする。 【総合的な学習の時間】 1時間 - パンフレットを使ってオリンピック・パラリンピックについて学ぶ。 【札幌オリンピックミュージアム見学】 (総合的な学習の時間 2時間) - 女子アイスホッケー選手 青木香奈枝さんの講演・施設内見学・展望台での札幌市の様子を見学する。 ○取組の様子 - シアタールームでの青木香奈枝さんによる講話



	・体験施設で青木香奈枝さんのアドバイスを受ける児童  ・展望台から札幌市の様子を見学する児童 
6 主な成果	・2020年の東京オリンピック開幕が迫る中での学習だったので、子どもの関心はとても高く、1時間目の学習では見学に向けて、オリンピック・パラリンピックについて学ぶ意欲を高めることができた。 ・札幌オリンピックミュージアムでの、ソチオリンピックに出場した女子アイスホッケー「スマイルジャパン」の青木香奈枝氏による講話では「一生懸命やり続けること」の大切さを聞き、自分に置き換えて考えることができた。 ・札幌オリンピックミュージアムでの施設見学や展望台見学を通して、札幌オリンピック開催で札幌のまちが発展したことを学ぶことができた。
7 実践において工夫した点	1時間目の導入では、オリンピック・パラリンピックへの関心を高めるために、1972年の札幌オリンピック冬季大会について紹介した。児童は、身近な五輪団地やフッズスノーエリアなどが、当時使用された施設であることを知り、学習への意欲をもてるようにした。
8 主な課題等	スケジュールがタイトで施設見学の時間がやや短かった。昼食を施設でとることが可能であれば、児童にとってより充実した学習となった。
9 今後の取組について	課題解決的な学習の充実が図れるように、振り返りの時間を十分に設けたり、社会科など他の教科と関連させたりすることで、より意義のある実践になると考える。